

新型コロナウイルス感染症と 高濃度ビタミンC点滴のお話

ビタミンCが新型コロナウイルス感染を防ぐ？

ビタミンCの点滴療法と聞くと、肌荒れの改善、美白、美肌などを期待したアンチエイジングの点滴を想像されると思います。実は、ビタミンC療法はウイルス、細菌、がん細胞を殺す効果があることは古くから知られています。現に、当院でも副作用の起こりにくい抗がん剤治療の一つとして説明を行っています。

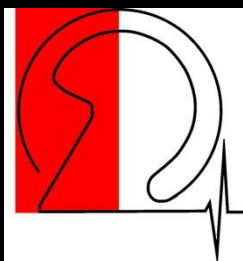
最近の国際オーソモレキュラー医学会では、「ビタミンCがコロナウイルス感染を防ぐ」と発表しました。1日3gのビタミンC摂取でウイルス性呼吸器感染の予防・症状軽減効果が報告され、ビタミンD3、亜鉛、マグネシウム、セレンにも同様の効果が期待できることなどがわかりました。

ウイルス感染症予防の基本は、人体の抗酸化力を最大にすること、感染してしまったら症状を最小にするために免疫力を高めることです。そこで感染の予防が重要です。予防するには、ビタミンCを体内に摂取することが大切です。高濃度ビタミンC点滴療法に加え、自宅でもできるサプリメント（ビタミンCやビタミンB）の摂取もお勧めしています。

ビタミンC療法には、ビタミンCを口から飲む経口摂取と、静脈から点滴する方法との2種類があります。感染を予防するには1日3,000~9,000mgのビタミンCを数回にわけて経口摂取するとよいとされています。しかしながら、ビタミンCは水溶性なので、多く摂っても余剰分は尿として排出されます。つまり、ビタミンCを大量に経口摂取しても、血液中のビタミンC濃度はある一定以上から上がらないことわかっています。

点滴療法は正式には「高濃度ビタミンC点滴療法」といい、直接血管内に高濃度のビタミンCを投与することができるため、高い濃度が維持できることが知られています。医学会では、がん治療の分野で高い効果をあげています。また、一般的な高濃度ビタミンC療法の効果として、前述したウイルス、細菌、がん細胞を殺す効果以外にも、各種疾患の予防（アトピー、喘息、関節リウマチ、動脈硬化）や、もちろん、アンチエイジング効果も多く報告されています。最近の話題では1月26日より、中国では、新型コロナウイルス感染症の治療薬として、高濃度ビタミンC点滴による臨床治験が行われています。

当院の高濃度のビタミンC点滴は、25,000mgという多い量の静脈内投与を行います。点滴時間は、初診患者では90分から120分程度の時間を要しますので、電話にて予約をお願いします。その他、ご質問がございましたら、診察時にご相談ください。



点滴・予防クリニック

電話：092-292-6639

福岡県福岡市博多駅前3丁目3-12第6ダイヨシビル7階